

ガス給湯器 取扱説明書

商品コード

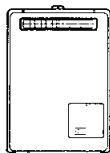
33-591・592 型
33-593・594 型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

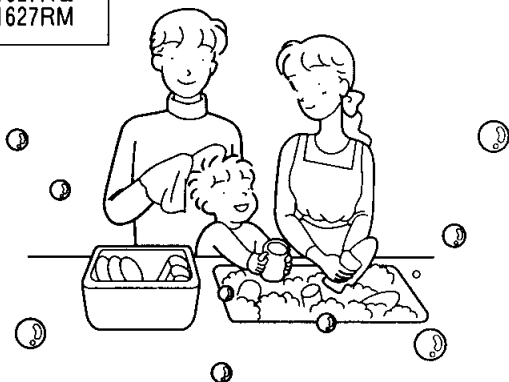
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

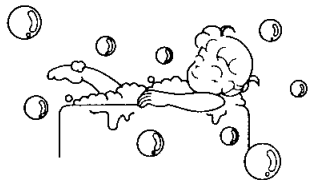
- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- 別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



図は33-591型です。

型 式 名	YS1627R YS1627RG YS1627RQ YS1627RM
-------------	---





使いかた

お湯の出しかた



15

使用前に

特に注意していただきたいこと



1

各部のなまえとはたらき

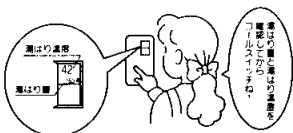


8

湯はりコールのしかた

〔台所リモコンがある場合〕

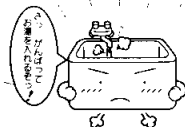
1. 湯はり量と湯はり温度を設定



2. 湯はり量になると



2. 給湯栓を開ける



3. コールしてくれます



19

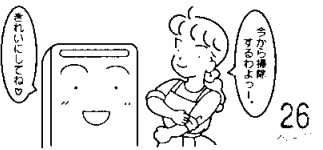
点検・お手入れ・他

点検のしかた



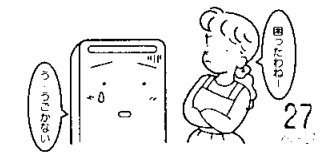
25

お手入れのしかた



26

故障かな？と思ったら



27

アフターサービス



30

●機器の仕様には、湯温調節に2つのタイプがあります。どちらの場合か確認してください。

リモコンがある場合	37～50、60、75℃でお好みの湯温に調節できます。
リモコンがない場合	湯温は通常60℃に設定されています。 必ず混合水栓でお好みの湯温に調節してください。

●機器が不都合な場合あるいは、不明な点がある場合は、自分で修理しないで、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

特に注意していただきたいこと・・・1～7

1. 使用前に

- 各部のなまえとはたらき・・・8
- リモコンについて・・・9～11
(台所・浴室・増設リモコン)

2. 使いかた

- 安全装置について・・・12
- はじめてお使いになるときは・・・13～14
・運転前の準備と確認・・・13～14
・現在時刻の合わせかた・・・13～14
- お湯の出しかた・・・15～18
(リモコンがある場合)
・お湯の出しかた・・・15～16
・優先表示について・・・17
・給湯設定温度の記憶について・・・18
- 湯はりコールのしかた・・・19～20
- 他のリモコンを呼出したいとき・・・21
- お湯の出しかた・・・22
(リモコンがない場合)
- 凍結予防のしかた・・・23～24

3. 点検・お手入れ、他

- 点検・お手入れ・・・25～26
・点検・・・25
・お手入れ・・・26
- 故障かな？と思ったら・・・27～29
- アフターサービス・・・30
- 仕様・・・31

使用前に

使いかた

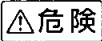

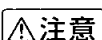
点検・お手入れ、他

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。











☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

	危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
	警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。


絵表示	意味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	高温注意
	発火注意
	一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う
	アース必要

危険

■機器の設置について

屋外用機器のため、屋内には絶対に設置しない。




 不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

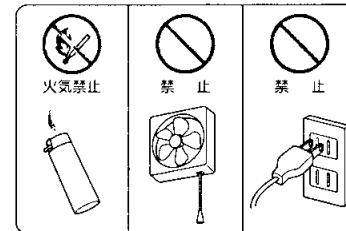
警告

■ガス漏れ時の処置について

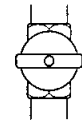
ガス漏れに気付いたときは、右記①～②の処置を行う。

また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しはしない。

 火や火花で引火し、火災になるおそれがあります。



① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。



ガス栓



閉じる

② 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



連絡する

警告

■機器の設置について

- 機器の設置・移動および付帯工事はお買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。

☑ 思わぬ事故の原因になります。

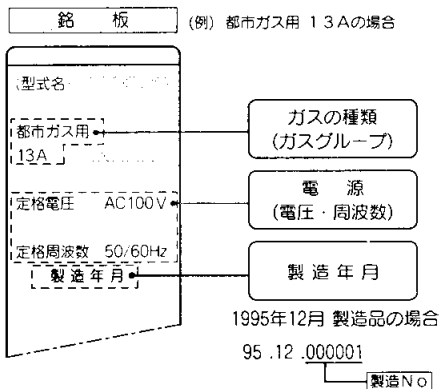
■使用ガス・電源について

- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)を使用する。

☑ 火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

- 転居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。
- ※ガスの種類には都市ガス(数種類)とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 機器の製造年月も銘板に表示してあります。合わせて確認してください。

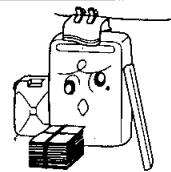
わからない場合やご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



警告

- 機器の周辺や排気トップ・排気口周辺に燃えやすい物(タオル・新聞紙・木材・灯油など)を置かないでください。

☑ 火災のおそれがあります。



- 機器の近辺でスプレー、ベンジン、灯油など引火のおそれのあるものを使用しない。

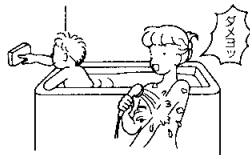
☑ 火災のおそれや機器の故障の原因になります。

- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。

☑ 熱でスプレー缶の圧力があがり爆発するおそれがあります。

- 給湯およびシャワー使用中は、使用者以外は、お湯の温度を変更しない。

☑ 熱湯によるやけどのおそれがあります。



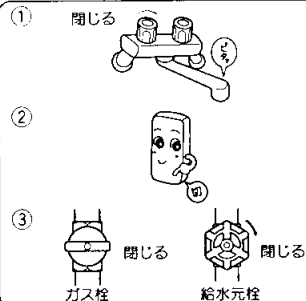
- 給湯およびシャワーを使う場合、再使用時や湯量を変化させた時などに熱いお湯が出ることがあるため、手で湯の温度を確かめてから使用する。

☑ やけどのおそれがあります。



- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずに処置する。

- ① 給湯栓を閉じる。
- ② リモコンがある場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にする。
- ③ ガス栓・給水元栓を閉じる。



注意

- 排気トップからの排気ガスによって、加熱されて困るもの（植木・ペットなど）を置かない。

☒ 植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

- 給湯、シャワー以外の用途に使用しない。

☒ 思わぬ事故の原因になります。

- 機器周辺に電源プラグがある場合。

【電源プラグをぬくときは】

- ・コードを引っばらない。
- ・濡れた手で触らない。

【電源プラグを差し込むときは】

- ・確実に奥まで差し込む。

☒ 感電のおそれや発熱・発火の原因になります。

- 使用中、使用直後は排気トップ・排気口や排気筒周辺が高温になっているためさわったりしない。

☒ やけどのおそれがあります。



接触禁止



- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてから入浴する。

☒ お湯の温度が高い場合、やけどのおそれがあります。

お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 使用時の点火、使用後の消火を必ず確かめてください。

リモコンの燃焼表示を確認してください。
(12ページからの「使いかた」を参照)

- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの（別売部品）以外は使用しないでください。

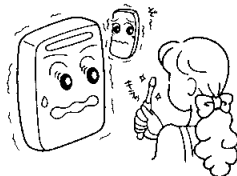
- 本製品は家庭用ですので業務用として使用しないでください。

☒ 著しく寿命が短くなります。

- 機器およびリモコンの分解は絶対にしないでください。



分解禁止



- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。

☒ 25～26ページの「点検・お手入れ」を参照してください。

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯（洗面器一杯程度）は飲用や調理用に使用しないでください。念のために雑用水として使用してください。

- 長期間使用しない場合は、万一のガス漏れや凍結を防止するためガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。

☒ 24ページの「凍結予防のしかた（機器内の水を抜く方法）」を参照してください。



閉じる

ガス栓

- 断水時は給湯栓を閉じ、リモコンがある場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、12ページからの「使いかた」に従って操作してください。

- 外気温が極端に低くなる場合、凍結予防処置が必要です。23～24ページの「凍結予防のしかた」を参照し、処置を行ってください。

☒ 凍結による機器・配管の修理は有料です。

お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- リモコンは、子どもがいたずらしないよう注意してください。

急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。

- リモコンには、水をかけないでください。浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけると故障の原因になります。

- お出かけや、おやすみのときは、機器が消火していることを必ず確認してください。

- 増改築などにより、線入・納入板ガラスを排気トップの近くに取り付けしないでください。

排気ガスの熱で、板ガラスが割れるおそれがあります。

- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再通電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。12ページからの「使いかた」に従って、操作してください。
- 時刻もリセットされますので、通電後13~14ページに従って、再度時刻を合わせてください。

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2~3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)

お問い合わせの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

- 積雪時は機器および機器の排気トップ・給気口が雪でふさがれていないか確認してください。

不完全燃焼の原因になります。

- 積雪や屋根からの落雪で機器および機器の排気トップ・給気口がふさがれている場合は、積雪・落雪対策が必要です。お問い合わせの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

- 雷が発生しているときは、すぐに使用をやめ、電源プラグを抜いてください。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にしてください。)

電子部品が故障する原因になります。

- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「入」にしてください。)

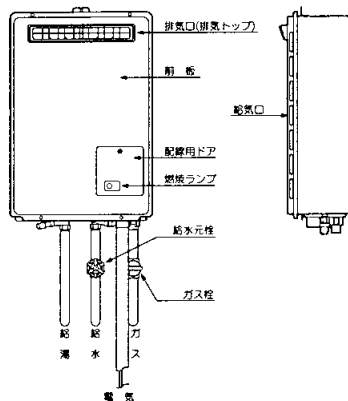
- 機器の燃焼中は機器のそばに長時間とどまらないでください。

排気ガスを長時間吸うと、気分が悪くなる場合があります。

各部のなまえとはたらき

機器本体

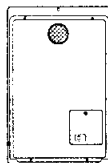
PS標準設置形
33-591型



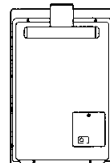
使用前に

バリエーション

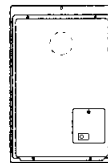
PS扉内設置形
33-592型



PS扉内設置・前方排気延長形
33-593型



PS扉内設置・後方排気延長形
33-594型



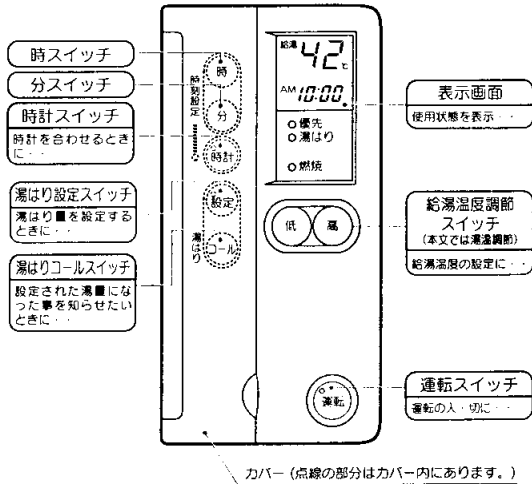
PSとは、パイプシャフトの略です。

特長

- 万一の異常をお知らせするOKモニター付。
- 給湯の設定温度が一目でわかるデジタル表示。

リモコンについて

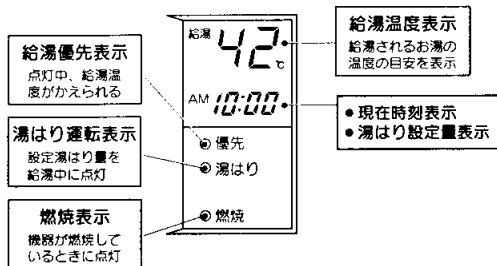
台所リモコン (38-721) [別売部品]



表示画面

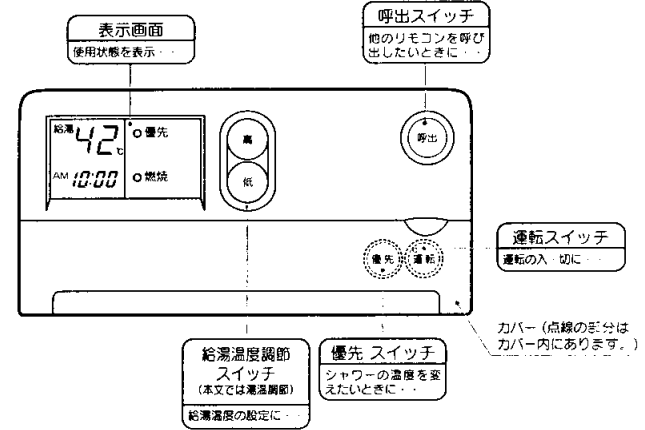
[例] 給湯設定温度42℃、時刻AM10:00のとき

表示は使用状態により、異なります。



浴室リモコン (38-722) [別売部品]

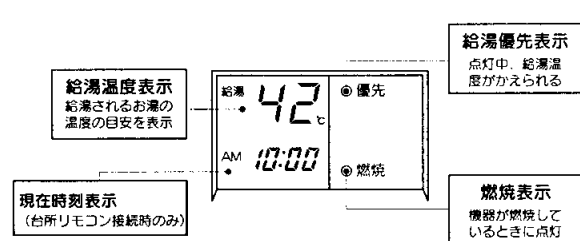
使用前に



表示画面

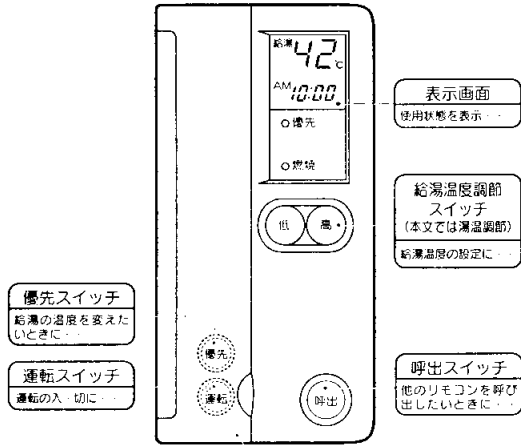
[例] 給湯設定温度42℃、時刻AM10:00のとき

表示は使用状態により、異なります。



リモコンについて

増設リモコン (38-723) [別売部品]

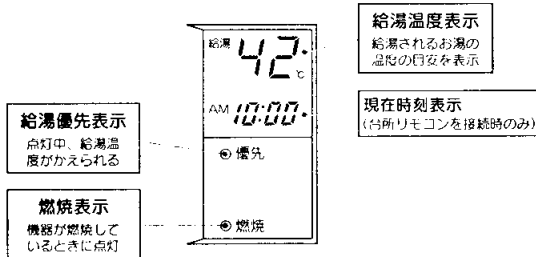


カバー (点線の部分はカバー内にあります。)

表示画面

【例】給湯設定温度42℃、時刻AM10:00のとき

表示は使用状態により、異なります。



安全装置について

安全装置の種類とはたらき



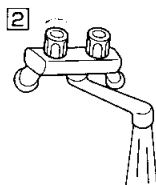
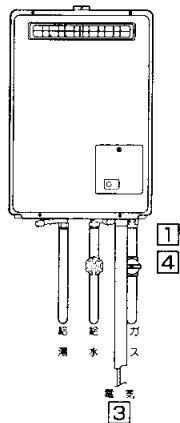
使用前に

使いかた

はじめてお使いになるときは

運転前の準備と確認

1～4の手順で行ってください。



1 給水元栓の開栓

給水元栓を全開にする。

2 出水の確認

台所または洗面所などの給湯栓を開け、水が出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

3 電源の投入

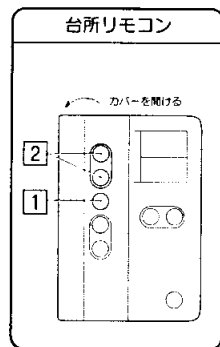
電源プラグをコンセントに差し込む。
(機器周囲に電源プラグがない場合は、
機器用屋内ブレーカーのスイッチを「入」
にする。)

4 ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

使
い
か
た

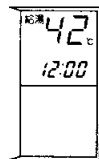
現在時刻の合わせ方 (リモコンがある場合)



1 時計スイッチを押す

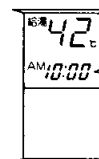
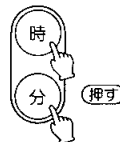


時計スイッチを押した後、
約10秒以内に「時・分」ス
イッチを押さないと自動的
に時刻を刻み始めます。



初めて時計スイッチを押
したときは、12:00が表
示されます。

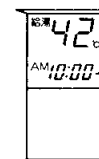
2 時・分スイッチを押す



現在
時刻に

午前(AM)と午後(PM)
を間違えないように

約10秒後ランプが消えて
時刻を刻み始めます。



：が点滅し、時刻を
刻み始めます。

お湯の出しかた (リモコンがある場合)

警告

給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。



他の人が給湯およびシャワーを使用しているときにリモコンのお湯の温度を変えない。
お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。



高温注意



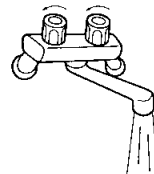
☑ やけどのおそれがあります。

☑ やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞すぎたときや水温が30℃に近いときおよび、ソーラシステムと接続しているときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。

このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



1 ~ 4 の手順で行ってください。 1 運転スイッチを押す

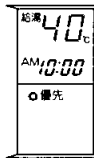
台所リモコン

浴室リモコン

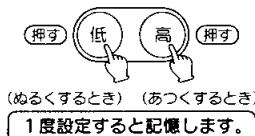
増設リモコン



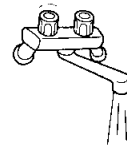
表示は台所リモコンの例です。ランプ表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。



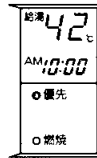
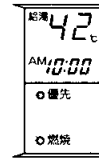
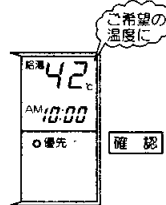
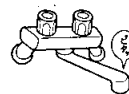
2 湯温調節スイッチを押す 3 お湯を出す 4 お湯を止める



給湯栓を開ける。



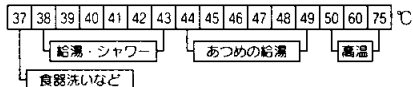
給湯栓を閉じる。



給湯設定温度について

■ はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。

■ 給湯温度のめやす



● 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。

● 給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」にすると、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり電子音「ピピッ」でお知らせします。

● 「高」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。60℃、75℃にするときは、もう一度押してください。

使
い
か
た

お湯の出しかた (リモコンがある場合)

警告

- 燃烧ランプが点灯している時の優先の切り替えはしない。
- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃烧ランプが消灯していることを確認する。

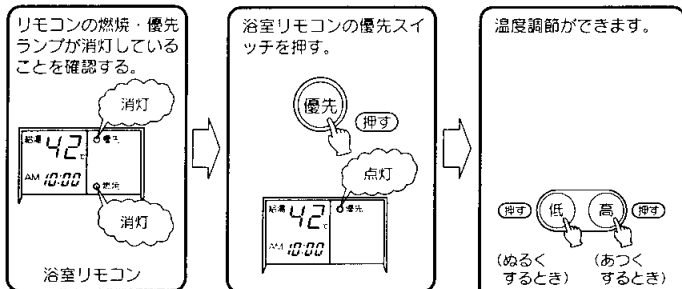
☒ やけどのおそれがあります。

優先表示について (台所リモコンと別売の浴室リモコンを使用する場合)

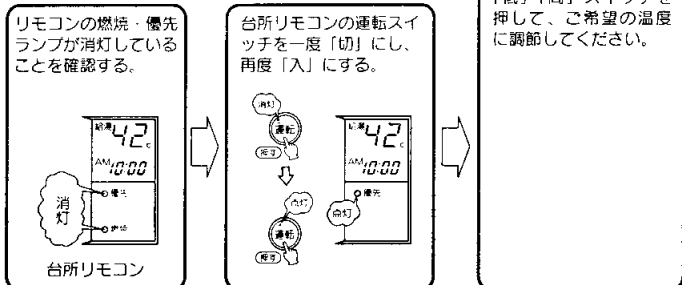
- 優先ランプの点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

浴室リモコンを優先にしたいとき (浴室リモコン・台所リモコン使用時)



台所リモコンを優先にしたいとき



ご使用の準備完了

警告

前回に設定したお湯の温度を記憶しているため、高温(60℃・75℃)で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。

☒ やけどのおそれがあります。

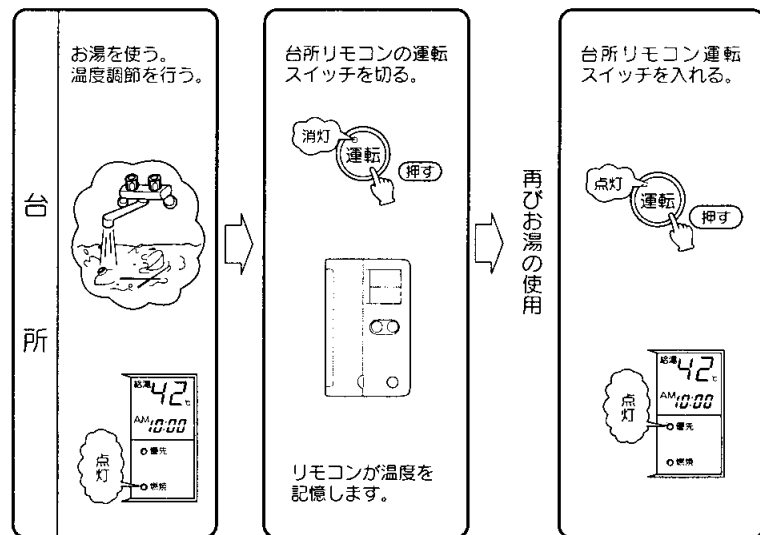


確かめる



給湯設定温度の記憶について (各リモコンで最後に設定された温度を記憶します。)

- 台所リモコンで紹介をしますが、他のリモコンでも同じ操作方法です。

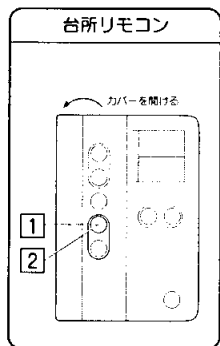


給湯温度75℃設定のときは、運転スイッチを「切」、再度「入」にしたとき、安全のため60℃設定に変わり、電子音「ピッピッ」でお知らせします。

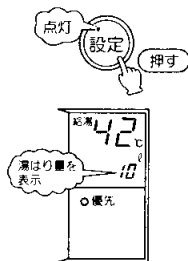
使いかた

湯はりコールのしかた(台所リモコンで操作)

湯はりコールの合わせかた



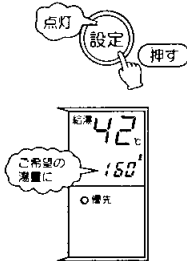
1 設定スイッチを押す



はじめてお使いになるときは、10ℓが表示されます。

2 湯はり量の設定

再度、設定スイッチを押し、湯はり湯量の設定をする。



1回押す毎に10ℓづつ変化し、630ℓまでいくと再び10ℓに戻ります。

ワンポイントアドバイス

- 数秒後設定表示は自動的に消えます。
- 設定湯量の確認は、再度湯はり設定スイッチを押ししてください。

■設定湯量のめやす

浴そう	1人用	1.5人用	2人用
湯量のめやす	約160ℓ	約190ℓ	約240ℓ

- 「湯はりコール」使用中、他の給湯栓を使用したりすると、湯はり量が少なくなります。

湯量を変えたいときは、お湯はり設定スイッチを10秒以内に押ししてください。

湯はりコールのしかた

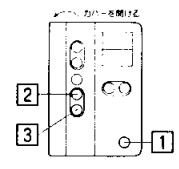
浴そうの確認

- 浴そうの排水栓を閉じる

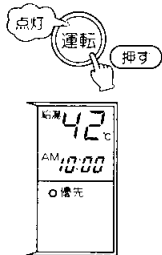


閉じる

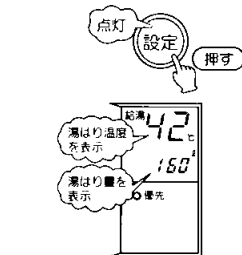
台所リモコン



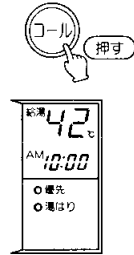
1 運転スイッチを押す



※湯はり温度は、給湯設定温度になります。

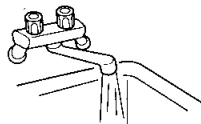


3 湯はりコールスイッチを押す



湯はりコールスイッチを押すと給湯設定温度は、37～50℃となります。(60℃・75℃には設定できません。また、給湯設定温度60・75℃のときに湯はりコールスイッチを押すと50℃になります。)

4 給湯栓を開く



5 給湯栓を閉じる

- アラームが鳴り設定した湯量になったことをお知らせします。
- アラームが鳴れば給湯栓を閉じてください。



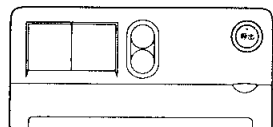
- アラームは約14秒間で自動的に止まります。
- 途中でアラームを止めたいときは運転スイッチを「切」にしてください。

他のリモコンを呼び出したいとき

人を呼ぶ必要が生じた時などに声を出さずに知らせることができます。
(別売部品の浴室リモコンまたは、増設リモコンを接続した場合のみ)

呼出スイッチを押す

浴室リモコン



呼出スイッチ

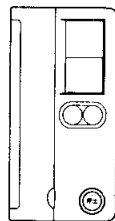
ビビビ



呼出

押す

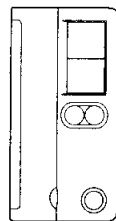
増設リモコン



ビビビ

呼出スイッチ

台所リモコン



ビビビ

- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。
(押し続けているとその間鳴り続けます。)
- 浴室でシャンプーや石けんがないときなど、困ったときも呼出スイッチがあれば便利です。

お湯の出しかた (リモコンがない場合)

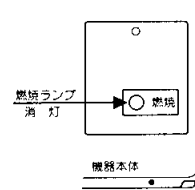
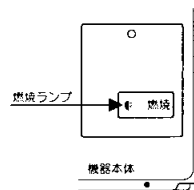
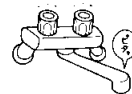
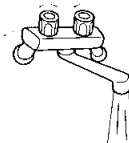
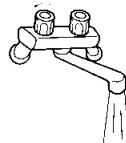
①～②の手順で行ってください。

① 給湯栓を開く (混合水栓のお湯側) ② 温度調節をする ③ 給湯栓・給水栓を閉じる (混合水栓のお湯・水側)

- 機器本体の燃焼ランプが点灯する。

- 給水栓 (混合水栓の水側) を開けてお好みの温度に調整する。

- 機器本体の燃焼ランプが消灯する。



⚠ 警告

- 給湯栓からは、通常設定の場合、約60℃の熱いお湯が出ます。
やけど防止のために先に給水栓を開けて水を出し、それから給湯栓を開けてお好みの温度に調整してください。
- 給湯、シャワーなど2箇所でも同時使用すると湯量が少なくなり、湯温が変化することがありますので、再度お湯の温度を確かめてから使用してください。

☑ やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

- お湯の量を絞りすぎると水になることがあります。
(機器内に水量を監視する装置 (水量センサー) が組み込まれており、約2ℓ/分以下になると燃焼が停止する仕組みになっています。)
- 停電・断水時は、運転を停止しますので、給湯栓を閉じてください。

使
い
か
た

凍結予防のしかた

■冬期は暖かい地域でも配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法 (通常の寒さのとき)

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

- 電源プラグが差し込まれていることを確認する。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーが「入」になっていることを確認する。)

※リモコンの有無およびリモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

■冷え込みが厳しいときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「通水による方法」または、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

通水による方法 (冷え込みが厳しいとき)

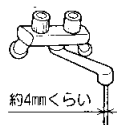
- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 リモコンの運転スイッチを切る。(リモコンがある場合)



- 3 ガス栓を閉じる。



- 4 給湯栓より水を少量流す。(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)



- 5 約30分後に再度流量を確認する。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

- 1 リモコンの運転スイッチを切る。(リモコンがある場合)
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 給湯栓を全開にする。
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯栓より水が出ることを確認する。
- 6 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

機器内の水を抜く方法 (長期間使用しないときや冷え込みが厳しいときなど)

⚠注意

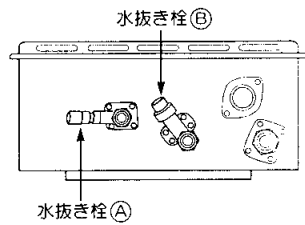
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。

☑ やけどのおそれがあります。

- 1 電源プラグを抜く。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーを「切」にする。)

※電気が遮断されて困るような、電気器具と共有されている場合は、特に注意してください。

- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 すべての給湯栓を全開にする。
- 5 水抜き栓 (A) (B) を左に回して取り外す。



(機器底面)

再び使用するまでそのままにしておく

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。機器からの排水量は約500ccありますので、適切な容器を準備してください。

再度ご使用になるとき

- 1 水抜き栓 (A) (B) をしっかりと取り付け。
- 2 給水元栓を開き給湯栓より水が出ることを確認する。
- 3 必ずすべての給湯栓を閉じてから12ページからの「使いかた」に従ってお使いください。

点検・お手入れ

点検 (月に1回程度)

	点検のしかた	処置
機 器 お よ び 周 辺	機器の周りや排気トップ、排気筒のそばに燃えやすいものを置いていませんか？	燃えやすいものを除いてください。
	運転中に機器から異常音や不快な臭いなどありませんか？	
	機器の外観に異常がありませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
	機器や配管から、ガスの臭いはありませんか？	
	機器や配管から、水漏れはありませんか？	

定期点検のおすすめ

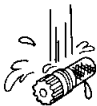
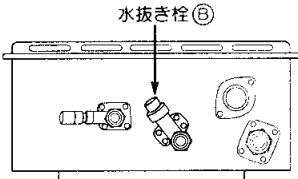
使用上支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2~3年に1回程度の定期点検をおすすめします。

詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

お手入れ (月に1回程度)

■給水元栓・ガス栓を閉じ、機器用屋内ブレーカーを「切」にし、機器が冷えてから行ってください。

■機器の前板を外したり、リモコンを分解しないでください。

	お手入れのしかた
機 器 本 体 ・ リ モ コ ン	<p>固くしぼった布で汚れをふきとってください。</p> <p>ベンジンやシンナーなどは使わないでください。</p> <p>機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。</p> <p>リモコンは故意に水や洗剤などをかけないでください。</p> <p>リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。</p>
水 フ ィ ル タ ー	<ol style="list-style-type: none"> 1 給水元栓を閉じる。 2 水抜き栓⑥を左に回してはずす。 3 水抜き栓⑥の水フィルターを水洗いして掃除する。   <p>(機器底面)</p>

故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
●リモコンの運転ランプが点灯しない。 (時計表示が消えている。)	●停電していませんか？ ●漏電安全装置が作動していませんか？	. 7 12
●給湯栓を開いてもお湯にならない。(水のまま)	●停電していませんか？ ●漏電安全装置が作動していませんか？ ●ガス栓が全開になっていますか？ ●給湯栓 給水元栓が全開になっていますか？	7 12 13~14 13~14
●給湯栓を開いても水が出ない。	●断水していませんか？ ●凍結していませんか？	6 23
●高温のお湯が出ない。	●湯温調節は適切でしょうか？ ●ガス栓が全開になっていますか？	15~16 13~14
●低温のお湯がでない。	●湯温調節は適切ですか？ ●機器の水フィルターが詰まっていますか？ ●給湯栓 給水元栓が全開になっていますか？ ●ソーラーシステムを使用していませんか？	15~16 26 13~14 16
●使用中湯温が極端に変動する。	●ガス栓が全開になっていますか？ ●給湯栓 給水元栓が全開になっていますか？	13~14 13~14

●以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやわからないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので修理は絶対にお客さま自身でなさないでください。

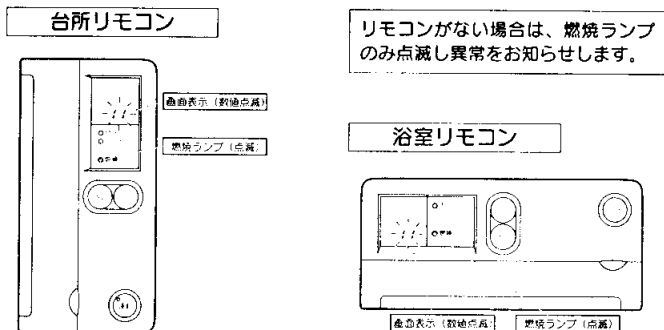
■次のような現象は故障ではありません。

こんなとき	お答えします
●給湯栓を絞ったら水になる。	●給湯栓からのお湯が1分間に約2リットル以下になると消火します。
●給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	●機器から給湯栓までの距離があるので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
●お湯が白く濁っている。	●白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。
●低温のお湯がでない。	●夏場などの水温が高いときやソーラーシステムに接続されている場合は、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもっと開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。
●運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音(ブーン)がする。	●再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間(約7分間)ファンがまわる音です。
●給湯設定温度が60℃・75℃にならない。	●お湯はりコール運転中は、安全のために50℃までの給湯設定温度になっています。高温の湯が必要な場合は、お湯はりコール運転を停止してください。
●時計表示が「0:00」になっている。 (リモコンがある場合)	●停電など、一時的に電源が切れた後は、時計表示が「0:00」になります。給湯設定温度も初期設定温度に戻りますので、再設定してください。
●停電復帰後にお湯がでない。	●お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再度通電してもリモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。再度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
●寒い日に排気トップから白い煙がでる。	●冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。

故障かな?と思ったら

故障表示をお調べください。

- 機器に不具合が生じると、リモコン表示画面の時刻表示部が下記のように2けたの数字を表示し、燃焼ランプが点滅します。(リモコンがある場合)



表示パネル	内 容	処 置 方 法
05	給気口の不具合	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして、表示が出なければ正常です。
11	バーナー点火せず	
12	バーナー途中消火	
14	過熱防止装置の作動	
16	給湯温度が高い	
31	給湯温度測定装置の不具合	
32	給水温度測定装置の不具合	
51	ガス電磁弁系統の不具合	
61	燃焼ファン回転数の不具合	
71	電装部品の不具合	
76	リモコン系統の不具合	

- 処置後も異常報知をくり返す (画面表示が05~76) ときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 27~29ページの「故障かな?と思ったら」を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品 名 ガス給湯器
2. 大阪ガス商品コード 例 (N) 33-591 (U)
(機器前面右下に貼付してあります) 大阪ガス株式会社
3. リモコンのコード番号 例 台所リモコンの場合
(リモコンのラベルに) ...38-721
表示しています。
4. 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
5. ご住所・お名前・電話番号・道順 (できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
修理によって性能が維持できる場合は修理(有料)いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後10年です。
その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕 様

品 名		ガス給湯器（瞬間先止め式）			
商 品 名		33-591型	33-592型	33-593型	33-594型
型 式 名		YS1627R	YS1627RG	YS1627RQ	YS1627RM
種 類	給（出）湯方式	先止め式			
	給排気方式	屋外式			
点 火 方 式		連続スパーク、ダイレクト着火			
最 低 作 動 水 量		3.0ℓ/分【作動水圧 14.7 kPa (0.15kgf/cm ²)】			
排 気 温 度		260℃以下			
外 形 寸 法		(高さ)510mm×(幅)350mm×(奥行)152mm			
重 量 (本体)		16kg		17kg	
接 続	給 水	15A (R1/2)			
	給 湯	15A (R1/2)			
	ガ ス	15A (R1/2)			
	電 気	C31 (電線管ねじ)			
電 気	使 用 電 源	AC100V (50/60Hz)			
	消 費 電 力	46W	42W		48W
	凍 結 予 防 運 転 時	94W			
安 全 装 置		立消え安全装置（フレームロッド方式） 水量センサー・過熱防止装置・残火安全装置 過剰温安全装置・過圧防止装置・漏電安全装置（漏電遮断器） 凍結予防装置（水抜き栓、凍結予防ヒーター）			
付 属 品		PS取付ねじセット・取扱説明書・保証書・工事説明書・機器取付部品一式			
別 売 部 品		●浴室リモコン ●台所リモコン ●増設リモコン ●壁埋込カバー（リモコン用） ●扉内設置用取付ボックス			

ガ ス の 種 別	お よ び	1時間当りの ガス消費量 kW	出 湯 能 力 ℓ / 分 (ガス消費量最大時)		ガ ス 接 続
			上 昇 温 度		
			最 大		
都市ガス	13 A	34.9 (30,000kcal/h)	25℃	40℃	15A (R1/2)
L P ガ ス		34.9 (25,000kcal/h)	14 (16.0)	10.0	15A (R1/2)

- 備 考
- 出湯能力は給水圧力98.1kPa (1kgf/cm²) とき。
 - ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
 - 出湯能力（ ）内は、湯水混合栓で混合した場合の数値です。